



信州ものづくり革新スクール

『ものづくりの“よい流れ”を創出する人材』を育成します

第2期 受講生募集のご案内

開催期間

平成30年 9月26日(水)～11月29日(木)



長野県産業労働部・NPO諏訪圏ものづくり推進機構



■ 「信州ものづくり革新スクール」が目指すもの

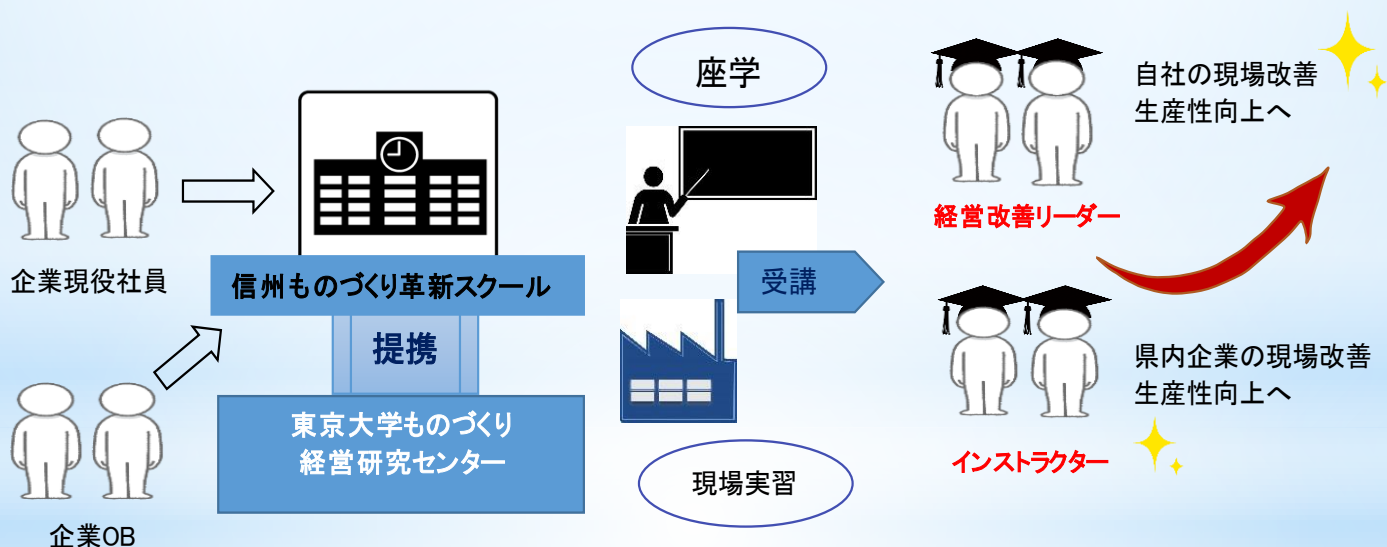
企業競争は益々激しい国際競争に直面しており、この競争に打ち勝つためには強い現場の構築が出来る人材の育成が必要です。また、我が国は急激な人口構成の変化の中で、AI や IoT分野など先進技術の進展が求められています。

県内企業の経営基盤強化・安定を図るために、企業の持っている「ものづくり技術」を有効活用できる仕組み作りが出来る人材を育成することを目的に、「信州ものづくり革新スクール 第2期」を開講し、現役・企業OBを対象とした人材育成事業を行います。

■ 「革新スクール」の概要

現場を改革し、格段に生産性を向上する人材を育成します。

- 現役の方 : 自社の現場改善・生産性向上へ取り組みます。
- 企業OBの方 : 自らの経験やノウハウを学び直し、県内中小企業に出向きインストラクターとして企業の現場改善・生産性向上を支援します。



スクールでは、生産の流れや製造工程の流れで無駄のない「ものづくりの良い流れ」の理論と手法を身に付けることができます。又、座学だけでなく、実際に製造現場において課題を抱えている企業に対し改善活動を行う等、実践的なものとなっており製造現場等において必要な知識を体感的に学ぶことができます。

尚、修了者につきましては、インストラクター派遣事業への展開が予定されており、県内中小企業・小規模企業での生産革新や改善活動へ参加していただけます。

当スクールは「東京大学ものづくり経営研究センター」のバックアップのもと、部分的な改善活動ではなく、設計からものづくり現場まで、全体の流れを最適にすることを目指す現場改革について学びます。藤本教授開発の「良い設計」の「良い流れ」を創出する体系的なプログラムに加え、実際の現場での改善実習で現場改善の技術や手法を学びます。

「東京大学ものづくり経営研究センター（MMRC）」
センター長：東京大学大学院経営学研究科 藤本隆宏教授

■ スクールの特徴

① 良い設計の良い流れづくり

東京大学ものづくり研究センターと共同開発した講義、演習、現場実習からなるカリキュラムです。東京大学 藤本隆宏教授のものづくり理論「ものづくりの良い流れを作る」をベースにしたオリジナルテキストを使います。

③ 豊富な講師陣

座学では、東京大学ものづくりインストラクターや、大手製造業出身者をはじめ経験豊富な講師陣が、また現場改善指導では、現場支援経験豊富なインストラクターが務めます。

② 実践的・体系的カリキュラム

工程の部分的な改善指導ではなく、設計から製造、物流までものづくりを体系的に学び、ものづくり全体を俯瞰できるインストラクターを育成します。座学・演習に加え実際に製造現場での実習等バランスよく組み合わせた現場密着・実践型プログラムです。

④ 継続的なフォロー

スクール修了生に向けた交流会や、スキルアップフォロー研修を行い、相互研修やモチベーション向上を図ります。

■ 講師紹介

春日 宗夫

オリンパス(株)にて開発設計、製品立上、製造、品質保証業務など従事。日本能率協会「ものづくりOJTインストラクター養成コース」講師。
東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(3期生)
群馬ものづくり改善インストラクター講師など。

国谷 晃雄

キヤノン(株)で取手工場生産技術部長、阿見工場生産革新導入の基盤造、中国珠海キヤノン工場長を務めた。東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(1期生)
茨城県中小企業振興公社テクノインストラクター、長岡などものづくり改善インストラクター講師など。

森 安夫 (スクール校長)

セイコーエプソン(株)にて生産設備製造・管理、ものづくり人材育成など担当。定年退職後、諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化部会会長。
東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(12期生)
信州ものづくり革新スクール推進責任者。

平井 勝則

セイコーエプソン(株)にて水晶振動子、光学事業の製造技術などに従事。定年退職後、池田町5Sプロジェクト、松本市5Sプロジェクトなど県内企業の5S改善指導。長野県中小企業振興センター専門家登録。
諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化アドバイザー。

井本 達美

東洋運搬(株)、富士ゼロックス(株)において生産技術や治具・設備設計に従事。東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(2期生)
東京都生産性革新スクール講師。

雨宮 利春

商社勤務後、経営コンサルタント・研修インストラクターとして独立。一般社団法人人材開発支援協会を設立。同協会代表理事。主な指導先三菱鉛筆、京王百貨店、西部鉄道、日本経営者協会等。

横山 勝治

富士電機(株)にて、開発設計、半導体生産設備・ライン開発に従事。定年退職後、諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化部会専門アドバイザー。
東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(12期生)

久保田 進

セイコーエプソン(株)にて映像機器事業部で製造技術・営業などに従事。定年退職後、諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化部会専門アドバイザー。
信州ものづくり革新スクール第1期修了。

■カリキュラム概要



概論 2日間	ものづくりの基礎概念	ものづくりインストラクターとしての基本姿勢と、『ものづくりは設計情報の創造・転写である』という基礎概念を理解します。
	競争力と 企業パフォーマンス	現場での、ものづくり組織能力の大切さと収益力、パフォーマンスの計り方を理解します。
	コストと生産性	原価企画と原価管理の仕組み、ムダと生産性向上の概念、コスト低減策を理解します。
	納期・工程・在庫管理	納期と背後にある生産数量・生産期間、それらの管理について基礎的な概念を理解します。
	フレキシビリティと 製品開発プロセス	フレキシビリティとは何か、その必要性、要素を学びます。開発における生産性、開発期間の短縮について理解します。
	IoTの基礎概念	IoTの基礎をわかりやすく学び、IoT等のツールを活用したものづくり現場の生産性向上を図るための理解を深めます。
手法 7日間	IE・標準作業と標準時間設定	現場の作業改善の基本であるIEを学びます。現場管理の基礎である標準作業と標準時間について理解します。
	5S・3定 効率生産 TPM	企業体質の改善に有効である5S・3定について学びます。効率的なものづくりについて学び、そのための設備管理技術を理解します。
	VA・VE 不良削減とポカヨケ	現場で現物をベースにコスト削減する方法を学びます。不良削減の価値を知り、問題を正しく捉えて後戻りしない策を理解します。
	コミュニケーションの基本	お互いの信頼関係の上に、相手の立場を理解し自分の考え方を伝えるポイントを理解します。
	インストラクティングの基本	現場の従業員と協力しながら、効果を上げるための進め方を理解します。
	ものと情報の流れ図(VSM)	ものと情報の流れを、VSM図に落とし込み、見えにくいものを見えるようにする手法について理解します。
	からくり講座	作業や設備に物を供給・回収する「からくり改善」の事例を通して、定義や基本機構を理解します。
	リーダーシップとマネジメント	現場(組織)を上手く運営推進するため、リーダーシップ及びマネジメントのやり方・進め方を理解します。
	品質管理・QC7つ道具	「ものづくり」で取り上げる品質の範囲と定義、品質管理のアプローチ、現場での兆候の発見方法などを理解します。
現場実習 9日間	現場実習	企業の現場における問題点を見つけ、改善策を検討する実習をチームで行います。
	チームディスカッション 改善・改良案の施策検討	チームによるディスカッションで、現場分析から改善策までの検討を行います。
	改善案の提案(実習先)	チームごとに現場実習先の企業に改善案を提案します。
	改善案の提案(チーム発表)	現場実習先の改善案をチーム間で発表します。
成果発表 1日間	定石発表(個人案の提案)	受講生が経験した課題に対する、定石的改善策を発表します。



■カリキュラム



		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
1	9月26日 (水)	開講式 講座ガイダンス 事務局	ものづくり基礎概念 森	自己紹介 昼食	競争力と企業パフォーマンス 横山		納期・工程・在庫管理 森			
2	9月27日 (木)	TPM 平井			不良削減とポカヨケ 春日					
3	10月3日 (水)	IE・標準作業と標準時間設定 森			IE・標準作業と標準時間設定 久保田					
4	10月4日 (木)	5S3定・効率生産 平井			5S3定・効率生産 平井			AI・IoTの基礎概念 横山		
5	10月10日 (水)	コストと生産性 森			フレキシビリティ・製品開発プロセス 横山			VA・VE 春日		
6	10月11日 (木)	コミュニケーションの基本 雨宮			インストラクティングの基本 雨宮					
7	10月17日 (水)	ものと情報の流れ図(VSM) 国谷			ものと情報の流れ図(VSM) 国谷					
8	10月18日 (木)	からくり講座 横山			実習ガイダンス 事務局	グループ打合せ	リーダーシップとマネジメント 春日			
9	10月24日 (水)	品質管理 春日			品質管理・QC7つ道具 春日					
10	10月25日 (木)	実習ガイダンス	グループ打合せ		昼食	実習企業見学			進め方検討	
		春日				春日・井本・横山・深谷・川村・久保田				
11	10月31日 (水)	現場実習 (9:00-16:00)				現場実習 (9:00-16:00)				
12	11月1日 (木)	チームディスカッション				チームディスカッション				
13	11月7日 (水)	現場実習 (9:00-16:00)				現場実習 (9:00-16:00)				
14	11月8日 (木)	チームディスカッション				チームディスカッション				
15	11月14日 (水)	現場実習 (9:00-16:00)				現場実習 (9:00-16:00)				
16	11月15日 (木)	改善案検討・作成 春日・井本・横山・深谷・川村・久保田				改善案検討・作成 春日・井本・横山・深谷・川村・久保田				
17	11月21日 (水)	発表資料のまとめ 春日・井本・横山・深谷・川村・久保田				改善策の提案 春日・井本・横山・深谷・川村・久保田				
18	11月28日 (水)	改善策の提案 <各実習先>				改善策の提案 <各実習先>				
19	11月29日 (木)	成果発表		成果発表(個人感想・決意表明)			修了式			
自社等で改善活動										
20	2019年4月~5月	個人フォローアップ研修		各自課題と改善活動の報告・討議						

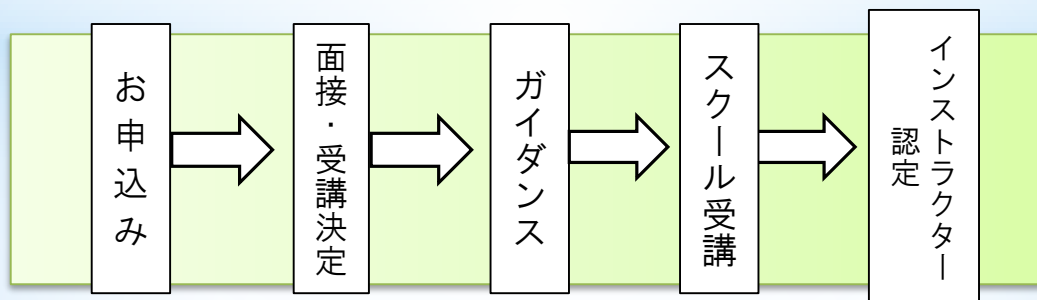
会場および時間など、都合により変更することがあります。
その場合は事前にご連絡いたします。



■第2期受講生 募集要項

開講期間	2018年9月26日(水)～11月29日(木)毎週水・木曜日 延べ19日間	
募集期間	2018年7月 2日(月)～ 8月10日(金)	
会場	座学 10日間 諏訪市商工会館など 実習 9日間 県内(諏訪圏域)実習先企業	
募集定員	15名程度	
募集対象	企業現役	・県内の製造業等の現場責任者、または幹部候補の方
	企業OB	・大手、中堅製造業の工場などで現場の経験豊富な方 ・スクール終了後、インストラクターとして県内企業への派遣支援活動が可能な方
申込方法	所定の申込用紙に職務経歴書を添付して、NPO諏訪圏ものづくり推進機構まで郵送、持参または電子メールでご提出ください	
受講料	企業現役	30万円
	企業OB	10万円
修了要件	出席率が概ね全体の8割に満たない場合、修了の認定を行わないことがあります(ただし現場実習には、9割以上の出席が必要です)	

■申込・受講の流れ



全カリキュラムを履修し、一定の基準に達したものは「長野県ものづくり革新インストラクター」として認定します

現場改善実習の受け入れ企業を募集しています

カリキュラム後半の現場実習(10月25日～11月14日の内4日間)に、自社現場を開放いただける企業を募集しています。受講生申込の有無とは別に、現場実習受入のみの希望も受け付けています。

 NPO 諏訪圏ものづくり推進機構

〒392-0023 長野県諏訪市小和田南14-7

TEL 0266-54-2588 FAX 0266-54-5133

E-mail : kakushin_s@suwamo.jp

担当 樋口・松本